平成26年度町長との対話集会 会議録

日 時	平成26年6月27日(金) 19:00 ~ 21:00
会 場	寺釜堀川集会所
町執行部	小谷町長, 石井副町長, 飯島教育長, 小野瀬公室長, 中村課長, 仲島課長, 雨澤総務課長・米川生活環境課長
議 員	今村議員

- 町 民
- ①地産地消でホッキ貝を使ったカレーを作って給食に出してみてもどうか。
 - ②経常経費94%の話があった。核燃の仕事が福島で減っていると思うが核燃の状況はどうなっているか。
 - ③常陽に大型の機械が入ったとのことだが五年計画との関係があるのか。
 - ④高温工学ガス炉の状況はどうなっているか。

- 町 長
- ①ホッキ祭りでカレーは出して好評を頂いている。給食などでも使えるものは使っていきたい。シラスベニアズマご飯なども良い。
 - ②経常経費は94%ぐらいでずっと来ている。原子力交付金等で事業展開できるよう進めている。大洗小は核燃料サイクルの五カ年17億のお金を使って建てたのであまり借金をしないで済んだ。財政力指数も少し落ち気味で、原因は原子力施設があまりよくないからである。千代田テクノルがガラスバッチだけでなく医者トレーニングセンターや治療まで行う施設の誘致を検討している。JMT Rでのモリブデン99をストレンチウムに変え検査薬を国産化する事業を立ち上げようとしている。検査薬はがんの発見に有効な薬である。核燃は原子力発電がとまっているので仕事が半減しているが、再稼働や廃炉の動きがあれば仕事は増えると考えている。
 - ③常陽は照射試験の機械が引っかかっているのを引き上げる機械か冷却施設の機械だと思われる。
 - ④ガス炉は冷却の面で安全な原子炉ということで国のほうも認識している。また、水素製造もトヨタ自動車の水素自動車を発売する報道があったが、二酸化炭素を出さない水素製造として今後プラントを大きくして実験を進めることになっている。大洗町は今後原子炉の研究・人材育成でその中心になっていく。

- 町 民
- 統合校に関して大貫から南中へのアクセスが悪い。海岸病院の先の橋も狭いし危ない。自転車での危険性がある。小学生が通うこ

とを考えると町としては考えがあるか。

町 長 大貫から通う子どもは距離感がある。なっちゃん号の活用を考えている。自転車の活用も考えている。山場平の道路拡張を進めており、通学路も適当な通り方人家が多いなども含め検討している。

町 長 ドールストーン300円に入れるようにしましたので、ご利用ください。

町 民 駅前海岸線の土地の買収状況と町営駐車場の活用についてのアンケート集計状況について。

町 長 駅前海岸線は大洗の顔にしようと考えている。これから沿道をどうするか検討していく。買収は路線のみだが7割強ぐらいまで話は進んでいる。代替の問題で少し時間はかかるかもしれない。町営駐車場の利活用については皆さんの意向、アンケート参考に賑わいの持てる環境を作っていきたい。

町 民 かもめ跡地の利用法は。

町 長 防衛の補助が6千万円残っていたが、福祉関係で使うことで返却しなくて済んだ。福祉ということでシルバー人材センター・いきいき通所事業・ワークス潮風の作業所、その他いろいろな団体が使っていただけるスペースもある。

町 民 統合校への登下校の安全性を確保した体制を確保してほしい。スクールバスなども検討してほしい。

教育長

- ・統合校になった場合、正門から約3割、体育館側から約7割、山場平への陸橋を使うお子さんが6割5分～7割と考えている。
- ・祝町・磯浜の統合のときも通学路検討でスクールバスも検討した。今なっちゃん号も含めスクールバスも何台入れるかは未定だが、検討はしている。
- ・通学路の安全性は学校・PTAで実際に歩き、危険箇所の写真を撮るなどしたうえで検討委員会にかける。

。大洗小でのバス利用ですが、海遊号の時間調整を行い募集をした。68名中58名申し込みがあったが、実際は20数名の利用で、低学年が中心である。

町 民 コストア前の押しボタン式の信号を子ども達はちゃんと押して渡っているが、お年寄りが押しボタンを押さない。大きな目に付く掲示物などあればいいのではないか？

町 長 検討します。

町 民 駅前に駐車場が少ない。

町 長 駅前海岸線とあわせて駅ロータリーの再開発も考えている。スペースの関係で一日中とめられる駐車場は十分確保できないかもしれない。

今村議員 バッハゾーン（松の遊歩道）の街頭が5箇所ぐらい切れている。

町 長 町から水戸土木事務所に連絡し交換します。